

# 国民皆保険50周年記念 有識者による日米医療政策プロジェクト 超党派コングレッショナル・ブリーフィング

## 「コングレッショナル・ブリーフィング」プログラム

■日時 2011年2月25日(金)12時00分～13時30分

■場所 参議院議員会館 特別会議室

■プログラム \*同時通訳あり

時間	プログラム
12:00-12:10	<b>【開会挨拶】</b> ・黒川清(特定非営利活動法人日本医療政策機構代表理事) ・J. Steve Morrison (Senior Vice President and Director, Global Health Policy Center, CSIS)
12:10-12:20	<b>【テーマスピーチ①】</b> 「持続可能性と効率化 医療の効率化と支払制度」 ・池上直己 (慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室教授) ・Gerard F. Anderson, PhD. (Professor, Bloomberg School of Public Health Johns Hopkins University) 医療を効率化する必要性について、だれしも異論はないが、病院における効率化と地域社会全体としての効率化は異なる。入院医療に対して、出来高払いではなく、包括的に払うことは、前者に寄与するが、後者は未定。日米の比較研究において、この課題を追求する。
12:20-12:45	<b>【ラウンドテーブルディスカッション①】</b> ・超党派衆参両議院議員および日米有識者 ・乗竹亮治(特定非営利活動法人日本医療政策機構マネジャー)(モデレーター)
12:45-12:50	<b>【テーマスピーチ②】</b> 「医療ITと効率化、医療の安全性の向上」 ・John D. Halamka, MD, MS. (Chief Information Officer, Harvard Medical School) 米国の医療ITの現状について、経済刺激策としての医療ITとその効果など交え紹介する。
12:50-13:15	<b>【ラウンドテーブルディスカッション②】</b> ・超党派衆参両議院議員および日米有識者 ・乗竹亮治(特定非営利活動法人日本医療政策機構マネジャー)(モデレーター)
13:15-13:30	<b>【まとめ・結語】</b> ・黒川清(特定非営利活動法人日本医療政策機構代表理事)

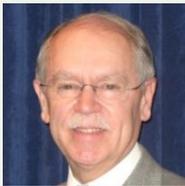
## 参加有識者紹介

### 略歴



#### 永井良三（東京大学大学院医学系研究科内科専攻循環器内科教授）

東京大学医学部医学科卒業。99年から東京大学大学院医学系研究科内科学専攻循環器内科教授。2002年同大医学部附属病院副院長、03年から07年まで同院長。政府審議会等では、厚生科学審議会疾病対策部会臓器移植委員会委員長、厚生労働省薬事・食品衛生審議会医薬品第一部会長、厚生科学審議会科学技術部会委員を務める。



#### Brian Biles, M.D., M.P.H. (Professor, George Washington University)

医療政策・医療サービスマネジメント教授。研究テーマは医療改革、メディケア、マネージド・ケアなど。クリントン政権では厚生副次官補、議会内委員会（医療政策）の上級スタッフを務める。7年に亘り、米国下院歳入委員会・医療小委員会にて主任スタッフとしてメディケアその他医療サービス財源に関する主要法案の作成を監督。メリーランド州保健プログラム運営も行う。



#### 池上直己（慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室教授）

慶應義塾大学医学部卒業。医学博士。慶應義塾大学総合政策学部教授、ペンシルベニア大学訪問教授を経て現職。中医協診療報酬調査専門組織慢性期包括評価調査分科会会長、同診療報酬調査専門組織DPC評価分科会委員会委員。日本医療・病院管理学会理事長、医療経済学会会長。世界銀行・WHOなどの顧問。



#### Gerard F. Anderson, PhD. (Professor, Johns Hopkins University)

医療政策・管理学教授、ジョンズ・ホプキンス病院財務経営センター所長。アメリカ保健社会福祉省長官室にて勤務し、メディケア・プロスペクティブ・ペイメント・システム立案を主導。1983年から同大学にて勤務。慢性疾患、保険制度比較、医学教育、医療費支払制度改革、技術の普及について調査研究を進める。世界銀行、WHO、米国国際開発庁の医療制度レビューを様々な国で実施。



#### 秋山昌範（東京大学政策ビジョン研究センター教授）

専門は、医療情報学、医療経済・経営工学、医療安全管理学。バーコードや電子タグの国際標準組織GS1-Healthcareメンバー。2008年～ WHO World Alliance for Patient Safety Core Group 日本代表委員。マサチューセッツ工科大学スローン経営大学院客員教授等を経て現職。



#### John D. Halamka, MD, MS. (Chief Information Officer, Harvard Medical School)

ハーバード・メディカルスクール最高情報責任者、ニューイングランド医療情報交換ネットワーク代表、オバマ政権・米国医療IT標準化委員会共同委員長を務める。米国医療IT標準化委員会では、全国の関係者間における電子規格の標準化を促進する。